【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和7年4月25日(2025.4.25)

【国際公開番号】WO2024/048109
【出願番号】特願2024-544018(P2024-544018)
【国際特許分類】
H01M 50/559(2021.01)
H01M 50/184(2021.01)
H01M 50/109(2021.01)
H01M 50/55(2021.01)
H01M 50/188(2021.01)
H01M 10/052(2010.01)
H01M 50/342(2021.01)
【FI】
H01M 50/559
H01M 50/184 E
H01M 50/109
H01M 50/55 201
H01M 50/188
H01M 10/052
H01M 50/342101

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月3日(2025.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電極組立体、
前記電極組立体を収納する外装体、および
前記外装体に配置され、導電部材を介して前記電極組立体と電気的に接続される電極端子
を有して成り、
前記電極端子と前記外装体との間に介在し、前記導電部材が通る前記外装体の開口部の周囲に設けられた絶縁シール部材によって、前記電極端子と前記外装体とが互いに接着されており、
前記電極端子が前記絶縁シール部材と接する面における前記電極端子の平面視輪郭が直線部と湾曲部との双方から構成され、前記外装体が前記絶縁シール部材と接する面における前記外装体の平面視輪郭が湾曲を含んでおり、前記電極端子の前記湾曲部と前記外装体の前記湾曲の一部とが互いに対向している、二次電池。
【請求項２】
前記電極端子の前記直線部は、前記外装体の前記一部と異なる前記湾曲と対向している、請求項１に記載の二次電池。
【請求項３】
前記電極端子の前記平面視輪郭において前記直線部と前記湾曲部とが連続的となるように前記直線部の一方の端部分と前記湾曲部の一方の端部分とが互いに共有化されている、請

求項１に記載の二次電池。
【請求項４】
前記電極端子の前記平面視輪郭に占める前記湾曲部の割合が前記直線部の割合よりも大きい、請求項１に記載の二次電池。
【請求項５】
前記電極端子の前記平面視輪郭において前記湾曲部が円弧状である、請求項１に記載の二次電池。
【請求項６】
前記外装体の前記湾曲に対して前記電極端子の前記直線部よりも前記湾曲部が相対的に近位に位置付けられている、請求項１に記載の二次電池。
【請求項７】
外部接続のための外部導出部材を２つ有して成り、前記外部導出部材の一方と他方との双方が同一の電池主面に対して設けられ、前記同一の電池主面が前記電極端子と前記外装体とから構成される電池面に相当する、請求項１に記載の二次電池。
【請求項８】
前記電極端子に対して前記外部導出部材の前記一方が設けられ、前記同一の電池主面のうち前記電極端子以外の領域となる非端子領域に対して前記外部導出部材の前記他方が設けられる、請求項７に記載の二次電池。
【請求項９】
単一の前記直線部と単一の前記湾曲部とから前記電極端子の前記平面視輪郭が構成されている、請求項１に記載の二次電池。
【請求項１０】
前記外装体の前記開口部の平面視開口輪郭が直線部と湾曲部との双方から構成されている、請求項１に記載の二次電池。
【請求項１１】
前記絶縁シール部材の平面視輪郭が直線部と湾曲部との双方から構成されている、請求項１に記載の二次電池。
【請求項１２】
前記電極組立体の電極として、リチウムイオンを吸蔵放出可能な正極および負極が含まれる、請求項１に記載の二次電池。